

卒業研究（A 専門科目）

科目名：

卒業研究（英文科目名：Graduation Research）

10単位 建築学科5年 通年 演習

担当教官：

建築学科全教官（居室：建築学科棟）

授業目的：

高専教育の集大成というべき科目で、学生は各研究室に配属され、教官の指導の下に、個人あるいはグループで特定の課題について研究を行う。

達成目標：

各自が企画し、研究を進め、最終発表までを各自の責任で達成する。

教科書：

特定の教科書なし

参考書：

建築学科すべての授業科目の教科書、参考書

学習方法：

課題の意義、既往の研究成果のまとめ、研究手法及びその実施に関する指導を受け、同時に自学自習を重ね研究を進める。

その主な目的は、建築学上の諸問題についての研究の進め方、論文のまとめ方、発表の方法などの習得であり、その全過程が重要視される。

学習保証時間：

$500（分/週） \times 30（週/年） = 15000（分/年） = 250（時間/年）$

キーワード：

研究課題、研究手法、論文作成、論文発表

授業内容：

授業方法：

研究室において学生の適性と希望に応じ、また、テーマに応じて個別の指導がなされる。

基本的には学生自身が計画を立てて、研究を進めることになる。

終了後、研究発表が義務づけられている。

カリキュラム中の位置づけ：

卒業設計と並んで建築学科のカリキュラムの集大成である。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

全科目

この科目と同時に学ぶ関連科目

なし

この科目の後に学ぶ関連科目

評価方法：

ゼミ、中間発表、最終発表、卒業研究の総合評価を行い、合格、不合格の最終評価を行う
連絡事項：

研究室の教官が適宜個別に相談に応じる。

学生へのメッセージ：

建築学科科目内で、卒業研究と卒業設計が5年間の集大成科目となっている。

5年間で学んだことを基に、各学生の実力を十分に発揮して欲しい。

=====